بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 5 巻

サアド・ブン・アビー・ワッカース

カーディスィーヤの司令官、マダーインを開いた人 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

فَلَمْ تَقْتُلُوهُمْ وَلَٰكِنَّ ٱللَّهَ قَتَلَهُمْ ۚ وَمَا رَمَيْتَ إِذْ رَمَيْتَ وَلَٰكِنَّ ٱللَّهَ رَمَىٰ وَلِيُبْلِيَ ٱلْمُؤْمِنِينَ مِنْهُ بَلَآءً حَسَنًا ۚ إِنَّ ٱللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٧﴾

「あなたがたがかれらを殺したのではない。アッラーが殺したのである。あなたが射った時，あなたが当てたのではなく，アッラーが当てたのである。（これは）かれからの良い試練をもって，信者を試みになられたためである。本当にアッラーは全聴にして，全知であられる。」

戦利品章 8:17

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

勝利をただご自身のもとからのみ与えられるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけ彼が「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」と言われたサアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 5 巻は、サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه の生涯を語ります。最初期の入信者の一人であり、アッラーの道で最初に矢を放ったアラブ人であり、楽園を約束された十人の一人であり、カーディスィーヤの司令官、マダーインを開いた人、そして祈りが聞き届けられた教友です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、日の出のときの***ユーフラテス川のほとりのイラクの平原***です。ナツメヤシの林、曲がりくねる川、そして朝霧が見えます。地平線にはかすかに、サアドがヒジュラ暦 16 年に開いたペルシアの都 ***マダーインのホスロー宮殿の大アーチ（タークキスラー）*** が立っています。

大きな岩の上には、***アラブの弓と革の矢筒***が置かれています。これらは、サアドがアッラーの道で最初に矢を放ったアラブ人であったこと（『サヒーフ・ブハーリー』3728）、そしてウフドでのアッラーの使徒 ﷺ の言葉を思い起こさせます。「ارْمِ فِدَاكَ أَبِي وَأُمِّي」―「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」（『サヒーフ・ブハーリー』4059）。

岩の上の一本の矢は地平線を指し、アッラーの言葉を思い起こさせます。「あなたが投げたとき、投げたのはあなたではなく、アッラーが投げたのである」（戦利品章 8:17）。右側で槍の先にはためく***白い旗***は、カーディスィーヤの司令官としてのサアドの指導を表しています。

下部の***紺色の帯***は、***細い金色の線***に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第 1 巻から第 4 巻までの表紙と同じ形にしています。

目次

サアド・ブン・アビー・ワッカース 5
1. サアドとは誰か 6
2. イスラームの三分の一 8
3. 自分の母からの試練 10
4. 弱い人々、貧しい人々とともに 12
5. アッラーの道での最初の矢 13
6. バドル：殉教した弟 14
7. ウフド：「射よ、わが父母をあなたの身代わりに！」 15
8. アッラーの使徒ﷺの護衛 17
9. 聞き届けられた祈り 19
10. 三分の一の遺言 21
11. 楽園を約束された十人の一人 23
12. カーディスィーヤの司令官 24
13. マダーインの解放とクーファの建設 26
14. クーファの人々の訴え 27
15. 協議会（シューラー） 30
16. 争いから身を引く 31
17. サアドの死 34
18. サアドの人柄 35
19. サアドの物語の出典 36
20. サアドの物語の人物 38
21. サアドの物語の場所 39
22. サアドの生涯の年表 40
23. サアドについてよくある質問 41
24. 教訓と結び 43
参考文献 45
支援と寄付 47

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

サアド・ブン・アビー・ワッカース

ウフドの日、ムスリム軍が散り散りになったとき、アッラーの使徒 ﷺ はご自身の矢筒の矢を一人の教友の前に空けて、こう言われました。 *「□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□□ □□□□□」* ― *「射よ、わが父母をあなたの身代わりに！」* その教友こそ *サアド・ブン・アビー・ワッカース* رضى الله عنه です。

サアドは最初期の入信者の一人であり、アッラーの道で最初に矢を放ったアラブ人であり、楽園を約束された十人の教友の一人であり、カーディスィーヤでペルシア帝国を破り、マダーインの都を開いた司令官でした。また、祈りが聞き届けられる人としても知られていました。

この電子書籍は *『イスラームの英雄』* シリーズの第 5 巻です。これまでの巻と同じく、サアド رضى الله عنه の物語を、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

サアドの物語は、自分の母の前での揺るがない信仰、戦場での勇気、そしてウンマが分裂したときに争いから身を引く知恵の物語です。彼はほかの多くの教友よりも長く生き、楽園を約束された十人の中で最後にこの世を去りました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

サアドとは誰か

彼の正式な名は*サアド・ブン・マーリク・ブン・ウハイブ・ブン・アブド・マナーフ・ブン・ズフラ*・アル＝クラシー・アッ＝ズフリーです。父マーリクは*アブー・ワッカース*というクンヤで知られていたので、彼はサアド・ブン・アビー・ワッカースと呼ばれました。サアド自身のクンヤは*アブー・イスハーク*で、ウマル・ブン・アル＝ハッターブはこの名で彼に呼びかけました（『サヒーフ・ブハーリー』755）。

彼はアッラーの使徒 ﷺ の母*アーミナ・ビント・ワハブ*の氏族、ズフラ族の出身です。母はハムナ・ビント・スフヤーン・ブン・ウマイヤです。サアドはヒジュラの約 23 年前（西暦 595 年ごろ）にマッカで生まれました。伝記の書は、彼を背が低くがっしりしていて、色がやや浅黒く、髪が豊かで、とても目が鋭い人として描いています。

ハディースの注：「これは私の母方のおじだ」

ジャービル・ブン・アブドゥッラーから伝えられるところでは、サアドがやって来ると、預言者 ﷺ はこう言われました。 /□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□ □□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□/ ― 「これは私の母方のおじだ。誰か、このようなおじを見せてみよ。」ティルミズィーは、サアドが預言者 ﷺ の母の氏族ズフラ族の出身であると説明しています。

伝承の状態：ティルミズィーは「ハサン・ガリーブ」としましたが、その伝承経路は弱い伝承者ムジャーリドに依っており、ダールッサラームは弱いと判定しています。サアドが預言者 ﷺ の母の氏族と親族関係にあることは、確かな歴史的事実です。

参照：

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3752。

名前と呼び名

名前・呼び名	説明
サアド・ブン・マーリク	本名
イブン・アビー・ワッカース	父のクンヤ、アブー・ワッカースにちなむ
アブー・イスハーク	クンヤ（『サヒーフ・ブハーリー』755）
アッ＝ズフリー	アッラーの使徒 ﷺ の母の氏族ズフラ族の出身
ファーリス・アル＝イスラーム	「イスラームの騎士」。歴史書での呼び名

教訓

サアドは名門の出身でしたが、本当の名誉は信仰と奉仕から生まれました。アッラーの使徒 ﷺ との親族関係は彼を高慢にせず、むしろイスラームに仕えることで最良の者になろうと努めさせました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イスラームの三分の一

サアドは 17 歳ごろ、マッカでの呼びかけのごく初期にイスラームに入信しました。イブン・イスハークによれば、*アブー・バクル・アッ＝スィッディーク* رضى الله عنه の呼びかけで、ウスマーン・ブン・アッファーン、アッ＝ズバイル・ブン・アル＝アウワーム、アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ、タルハ・ブン・ウバイディッラーとともに入信しました。サアド自身が、いかに早く入信したかを語っています：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3727 番

حَدَّثَنِي إِبْرَاهِيمُ بْنُ مُوسَى، أَخْبَرَنَا ابْنُ أَبِي زَائِدَةَ، حَدَّثَنَا هَاشِمُ بْنُ هَاشِمِ بْنِ عُتْبَةَ بْنِ أَبِي وَقَّاصٍ، قَالَ سَمِعْتُ سَعِيدَ بْنَ الْمُسَيَّبِ، يَقُولُ سَمِعْتُ سَعْدَ بْنَ أَبِي وَقَّاصٍ، يَقُولُ مَا أَسْلَمَ أَحَدٌ إِلاَّ فِي الْيَوْمِ الَّذِي أَسْلَمْتُ فِيهِ، وَلَقَدْ مَكَثْتُ سَبْعَةَ أَيَّامٍ وَإِنِّي لَثُلُثُ الإِسْلاَمِ. تَابَعَهُ أَبُو أُسَامَةَ حَدَّثَنَا هَاشِمٌ.

訳：

サイード・ブン・アル＝ムサイイブは言いました。私はサアド・ブン・アビー・ワッカースがこう言うのを聞きました。*「私が入信した日以外に入信した者はいない。そして私は七日間、イスラームの三分の一であった。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イブラーヒーム・ブン・ムーサー ← イブン・アビー・ザーイダ ← ハーシム・ブン・ハーシム ← サイード・ブン・アル＝ムサイイブ ← サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、サアド・ブン・アビー・ワッカースの美徳の章、ハディース第 3727 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3727

つまり、彼が入信して最初の一週間、信仰していた成人男性はわずか三人だったということです。学者たちは、サアドは自分の知る範囲で語ったのであり、その時ほかにひそかに信仰した人がいたかもしれないと説明しています。

教訓

サアドは若いときに入信しました。若さは、心が財産や地位で忙しくなる前に、真理を受け入れて仕えるための最良の時です。

自分の母からの試練

サアドの最も厳しい試練は、敵からではなく、自分の母ハムナ・ビント・スフヤーンから来ました。母は彼の入信を知ると、彼が元の宗教に戻るまで食べも飲みもしないと誓いました：

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1748c 番（抜粋）

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَزُهَيْرُ بْنُ حَرْبٍ، قَالاَ حَدَّثَنَا الْحَسَنُ بْنُ مُوسَى، حَدَّثَنَا زُهَيْرٌ، حَدَّثَنَا سِمَاكُ بْنُ حَرْبٍ، حَدَّثَنِي مُصْعَبُ بْنُ سَعْدٍ، عَنْ أَبِيهِ، أَنَّهُ نَزَلَتْ فِيهِ آيَاتٌ مِنَ الْقُرْآنِ - قَالَ - حَلَفَتْ أُمُّ سَعْدٍ أَنْ لاَ تُكَلِّمَهُ أَبَدًا حَتَّى يَكْفُرَ بِدِينِهِ وَلاَ تَأْكُلَ وَلاَ تَشْرَبَ . قَالَتْ زَعَمْتَ أَنَّ اللَّهَ وَصَّاكَ بِوَالِدَيْكَ وَأَنَا أُمُّكَ وَأَنَا آمُرُكَ بِهَذَا . قَالَ مَكَثَتْ ثَلاَثًا حَتَّى غُشِيَ عَلَيْهَا مِنَ الْجَهْدِ فَقَامَ ابْنٌ لَهَا يُقَالُ لَهُ عُمَارَةُ فَسَقَاهَا فَجَعَلَتْ تَدْعُو عَلَى سَعْدٍ فَأَنْزَلَ اللَّهُ عَزَّ وَجَلَّ فِي الْقُرْآنِ هَذِهِ الآيَةَ { وَوَصَّيْنَا الإِنْسَانَ بِوَالِدَيْهِ حُسْنًا} { وَإِنْ جَاهَدَاكَ عَلَى أَنْ تُشْرِكَ بِي} وَفِيهَا { وَصَاحِبْهُمَا فِي الدُّنْيَا مَعْرُوفًا} ...

訳：

（抜粋）ムスアブ・ブン・サアドは父から、クルアーンの節がいくつか父について下されたと伝えました。父は言いました。***サアドの母は、彼が自分の宗教を捨てて不信仰に戻るまで、決して彼と口をきかず、食べも飲みもしないと誓った。*** 母は言いました。「あなたは、アッラーが両親に孝行するよう命じたと言っている。私はあなたの母であり、あなたにこれを命じる。」彼は言いました。母は疲れ果てて気を失うまで三日間そのままでした。すると母の息子ウマーラが立ち上がって水を飲ませ、母はサアドを呪い始めました。そこでアッラーはクルアーンの中で次の節を下されました。***「われは人間に、両親に善くするよう命じた」***、***「だがもし両親が、われに並べて崇めるよう強いるならば」***、そしてその中に***「現世では両親に親切に付き合いなさい」***。

伝承経路： イマーム・ムスリムによる伝承：アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ ← アル＝ハサン・ブン・ムーサー ← ズハイル・ブン・ムアーウィヤ ← スィマーク・ブン・ハルブ ← ムスアブ・ブン・サアド ← サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』教友の美徳の書、サアド・ブン・アビー・ワッカースの美徳の章、ハディース第 1748c 番（抜粋）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。最も真正な二つのハディース集（二サヒーフ）の一つである。

典拠： sunnah.com/muslim:1748c

この出来事について下された節は蜘蛛章にあり、その意味はルクマーン章 31:15 でも繰り返されています：

蜘蛛章 29:8

وَوَصَّيْنَا ٱلْإِنسَٰنَ بِوَٰلِدَيْهِ حُسْنًا ۖ وَإِن جَٰهَدَاكَ لِتُشْرِكَ بِى مَا لَيْسَ لَكَ بِهِۦ عِلْمٌ فَلَا تُطِعْهُمَآ ۚ إِلَىَّ مَرْجِعُكُمْ فَأُنَبِّئُكُم بِمَا كُنتُمْ تَعْمَلُونَ ﴿٨﴾

われは人間に，両親に対して親切にするよう命じた。だがもしかれら（両親）が，あなたに対し何だか分らないものをわれに配するように強いるならば，かれらに従ってはならない。あなたがたは（皆）われの許に帰る。その時われは，あなたがたの行ったことを告げるであろう。

訳：三田了一 — quran.com/29:8

教訓

イスラームは両親への孝行を命じますが、アッラーへの背きにおいて両親に従うことは命じません。サアドは母に優しくあり続けましたが、信仰を手放しませんでした。クルアーンは均衡を教えています。信仰においては揺るがず、接し方においては善く。

弱い人々、貧しい人々とともに

クライシュの有力者たちは、自分たちが同席できるよう、貧しく弱い教友たちを集まりから遠ざけてほしいとアッラーの使徒 ﷺ に求めたことがありました。サアドは、自分とアブドゥッラー・ブン・マスウードを含む六人の教友について節が下されたと語っています（『サヒーフ・ムスリム』2413）。アッラーは仰せられます：

家畜章 6:52

وَلَا تَطۡرُدِ ٱلَّذِينَ يَدۡعُونَ رَبَّهُم بِٱلۡغَدَوٰةِ وَٱلۡعَشِيِّ يُرِيدُونَ وَجۡهَهُۥۖ مَا عَلَيۡكَ مِنۡ حِسَابِهِم مِّن شَيۡءٖ وَمَا مِنۡ حِسَابِكَ عَلَيۡهِم مِّن شَيۡءٖ فَتَطۡرُدَهُمۡ فَتَكُونَ مِنَ ٱلظَّٰلِمِينَ ٥٢

主の御喜びを求めて，朝夕，かれに祈る者を追放してはならない。かれらの（善悪の）清算は，少しもあなたの任ではなく，あなたの清算は，少しもかれらの任ではない。それで，あなたがかれらを追放するならば，あなたは不義の徒となるであろう。

訳：三田了一 — quran.com/6:52

教訓

アッラーのもとでの人の位置は、財産や地位ではなく、崇拝の誠実さによって量られます。イスラームは、人々に見下されても朝夕に主に祈る人々を尊びます。

アッラーの道での最初の矢

ヒジュラ暦 1 年、アッラーの使徒 ﷺ はウバイダ・ブン・アル＝ハーリスの指揮する小部隊をラービグ方面に送られました。部隊はクライシュの隊商と出会い、サアドは彼らに向けて矢を放ちました。それがアッラーの道で放たれた最初の矢でした。

サアド自身はこう言っています。*「私はアッラーの道で矢を放った最初のアラブ人である。私たちは預言者 ﷺ とともに遠征したが、木の葉のほかに食べる物はなかった」*（『サヒーフ・ブハーリー』3728）。

教訓

サアドと仲間たちは、木の葉を食べるほどの大きな困難の中で奮闘しました。その後のイスラームの勝利は、飢えと窮乏に耐えた最初の世代の犠牲の上に築かれたのです。

バドル：殉教した弟

サアドは、まだ少年だった弟の *ウマイル・ブン・アビー・ワッカース* とともにバドルの戦い（ヒジュラ暦 2 年ラマダーン月）に参加しました。

スィーラの注：隠れたウマイル

伝えられるところでは、アッラーの使徒 ﷺ が軍を検閲しているとき、ウマイルは幼いために帰されることを恐れて隠れていました。アッラーの使徒 ﷺ が彼に帰るよう言われると、ウマイルは泣き、それで同行を許されました。

サアドは、剣が弟には大きすぎたので、自分が剣の帯を結んでやったと言っています。ウマイルはバドルで 16 歳ほどで殉教しました。

伝承の状態： スィーラと伝記の書で伝えられ、歴史家に広く受け入れられています。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；ワーキディー『マガーズィー（遠征記）』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』（ウマイル・ブン・アビー・ワッカースの伝記）。

教訓

アブー・ワッカース家のジハードの精神は、幼いころから始まりました。幼い弟を戦場に送り出し、その殉教を見届けた兄の姿は、教友たちの家族がイスラームのために払った犠牲の大きさを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ウフド：「射よ、わが父母をあなたの身代わりに！」

ウフドの戦い（ヒジュラ暦3年シャウワール月）で、ムスリム軍が背後から攻撃されたとき、サアドはアッラーの使徒 ﷺ の前に立って敵に矢を放ちました。アッラーの使徒 ﷺ はご自身の矢筒をサアドのために空けられました（『サヒーフ・ブハーリー』4055）。アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه は、ほかの誰にも与えられなかった栄誉を目にしました：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4059 番

حَدَّثَنَا يَسَرَةُ بْنُ صَفْوَانَ، حَدَّثَنَا إِبْرَاهِيمُ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ شَدَّادٍ، عَنْ عَلِيٍّ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ مَا سَمِعْتُ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم جَمَعَ أَبَوَيْهِ لأَحَدٍ إِلاَّ لِسَعْدِ بْنِ مَالِكٍ، فَإِنِّي سَمِعْتُهُ يَقُولُ يَوْمَ أُحُدٍ " يَا سَعْدُ ارْمِ، فِدَاكَ أَبِي وَأُمِّي ".

訳：

アリー رضى الله عنه は言いました。*「私は、預言者ﷺがサアド・ブン・マーリク以外の誰かのために、ご自分の両親をともに（身代わりとして）挙げられるのを聞いたことがない。ウフドの日、彼がこう言われるのを聞いた。『サアドよ、射よ！わが父母をあなたの身代わりに。』」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ヤサラ・ブン・サフワーン ← イブラーヒーム・ブン・サアド ← サアド・ブン・イブラーヒーム ← アブドゥッラー・ブン・シャッダード ← アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、「あなたがたの中の二つの集団が怯みかけたとき」の章、ハディース第 4059 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:4059

「わが父母をあなたの身代わりに」は、アラビア語で最も高い愛情と敬意の表現です。それでもサアドは、勝利が自分の矢からではなく、アッラーから来ることを知っていました：

戦利品章 8:17

فَلَمْ تَقْتُلُوهُمْ وَلَٰكِنَّ ٱللَّهَ قَتَلَهُمْ ۚ وَمَا رَمَيْتَ إِذْ رَمَيْتَ وَلَٰكِنَّ ٱللَّهَ رَمَىٰ وَلِيُبْلِيَ ٱلْمُؤْمِنِينَ مِنْهُ بَلَآءً حَسَنًا ۚ إِنَّ ٱللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٧﴾

あなたがたがかれらを殺したのではない。アッラーが殺したのである。あなたが射った時，あなたが当てたのではなく，アッラーが当てたのである。（これは）かれからの良い試練をもって，信者を試みになられたためである。本当にアッラーは全聴にして，全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:17

教訓

サアドは持てる腕のすべてで矢を射ましたが、その結果はアッラーに委ねました。ムスリムは最善を尽くし、それからアッラーに委ねます。本当の成功はアッラーから来るのです。

アッラーの使徒ﷺの護衛

マディーナでの初期、アッラーの使徒 ﷺ の身の安全がまだ脅かされていたころ、ある夜眠れずにいた彼は、正しい教友に護ってほしいと願われました：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2885 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ خَلِيلٍ، أَخْبَرَنَا عَلِيُّ بْنُ مُسْهِرٍ، أَخْبَرَنَا يَحْيَى بْنُ سَعِيدٍ، أَخْبَرَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ عَامِرِ بْنِ رَبِيعَةَ، قَالَ سَمِعْتُ عَائِشَةَ ـ رضى الله عنها ـ تَقُولُ كَانَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم سَهِرَ فَلَمَّا قَدِمَ الْمَدِينَةَ قَالَ " لَيْتَ رَجُلاً مِنْ أَصْحَابِي صَالِحًا يَحْرُسُنِي اللَّيْلَةَ ". إِذْ سَمِعْنَا صَوْتَ سِلاَحٍ فَقَالَ " مَنْ هَذَا ". فَقَالَ أَنَا سَعْدُ بْنُ أَبِي وَقَّاصٍ، جِئْتُ لأَحْرُسَكَ. وَنَامَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم.

訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言いました。預言者 ﷺ はある夜、眠れずにおられました。マディーナに着くと、こう言われました。 ***「私の教友の中の正しい人が、今夜私を護ってくれたらよいのだが。」*** すると武器の音が聞こえました。彼は「これは誰か」と尋ねられました。その人は答えました。 ***「私はサアド・ブン・アビー・ワッカースです。あなたをお護りするために来ました。」*** そこで預言者 ﷺ は眠られました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・ハリール ← アリー・ブン・ムスヒル ← ヤフヤー・ブン・サイード ← アブドゥッラー・ブン・アーミル・ブン・ラビーア ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、アッラーの道の遠征での見張りの章、ハディース第 2885 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2885

ムスリムの伝承でアーイシャは、アッラーの使徒 ﷺ がいびきが聞こえるほどぐっすり眠られたと付け加えています（『サヒーフ・ムスリム』2410）。アッラーの使徒 ﷺ はサアドを ***「正しい人」*** と呼ばれました。

教訓

サアドは頼まれるのを待ちませんでした。アッラーの使徒 ﷺ の必要に気づき、すぐに武器を持って駆けつけました。最良の奉仕とは、頼まれる前に、思いやりのある心から生まれるものです。

聞き届けられた祈り

サアドは教友たちの間で、祈りが聞き届けられる人として知られていました。彼は、アッラーの使徒 ﷺ が自分のためにこう祈られたと伝えています。

/□□□□□□□ □□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□□ □□□□□□□□□□/ ―「アッラーよ、サアドがあなたに祈るとき、彼に応えてください」（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3751；ダールッサラームはハサンと判定）。

そのため教友たちは、サアドから呪いの祈りを受けないよう気をつけていました。彼の祈りの最も有名な話は、「クーファの人々の訴え」の章で語られます。アッラーご自身が、ご自分に祈るしもべの近くにいると約束しておられます：

雌牛章 2:186

وَإِذَا سَأَلَكَ عِبَادِى عَنِّى فَإِنِّى قَرِيبٌ ۖ أُجِيبُ دَعْوَةَ ٱلدَّاعِ إِذَا دَعَانِ ۖ
فَلْيَسْتَجِيبُوا۟ لِى وَلْيُؤْمِنُوا۟ بِى لَعَلَّهُمْ يَرْشُدُونَ ﴿١٨٦﴾

われのしもべたちが，われに就いてあなたに問う時，（言え）われは本当に（しもべたちの）近くにいる。かれがわれに祈る時はその嘆願の祈りに答える。それでわれ（の呼びかけ）に答えさせ，われを信仰させなさい，恐らくかれらは正しく導かれるであろう。

訳：三田了一 — quran.com/2:186

注：サアドの祈りの秘密

伝えられるところでは、サアドはなぜ祈りが聞き届けられるのかと尋ねられ、こう答えました。「私は、どこから来てどこへ出ていくのかを知らずに、ひと口の食べ物も口に運んだことがない。」

伝承の状態： これは教訓書や伝記の書でサアドに帰されている言葉であり、預言者 ﷺ のハディースではありません。その意味は、アッラーは善であり善いものしか受け入れられないという真正なハディースと一致しています（『サヒーフ・ムスリム』1015）。

参照：

イブン・ラジャブ・アル＝ハンバリー『知識と英知の集成（ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム）』（第 10 ハディースの注釈）；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

教訓

祈りが聞き届けられるのはサアドだけではありません。糧が合法であるよう気をつけ、信仰しアッラーに従う人は誰でも、祈りが受け入れられる大きな希望を持てるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

三分の一の遺言

別離の巡礼の年（ヒジュラ暦 10 年）、サアドはマッカで重い病にかかりました。彼は、移住して離れた土地で死ぬことを恐れていました。アッラーの使徒 ﷺ が見舞いに来られました：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2742 番

حَدَّثَنَا أَبُو نُعَيْمٍ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنْ سَعْدِ بْنِ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ عَامِرِ بْنِ سَعْدٍ، عَنْ سَعْدِ بْنِ أَبِي وَقَّاصٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ جَاءَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَعُودُنِي وَأَنَا بِمَكَّةَ، وَهْوَ يَكْرَهُ أَنْ يَمُوتَ بِالأَرْضِ الَّتِي هَاجَرَ مِنْهَا قَالَ " يَرْحَمُ اللَّهُ ابْنَ عَفْرَاءَ ". قُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ، أُوصِي بِمَالِي كُلِّهِ قَالَ " لاَ ". قُلْتُ فَالشَّطْرُ قَالَ " لاَ ". قُلْتُ الثُّلُثُ. قَالَ " فَالثُّلُثُ، وَالثُّلُثُ كَثِيرٌ، إِنَّكَ أَنْ تَدَعَ وَرَثَتَكَ أَغْنِيَاءَ خَيْرٌ مِنْ أَنْ تَدَعَهُمْ عَالَةً يَتَكَفَّفُونَ النَّاسَ فِي أَيْدِيهِمْ، وَإِنَّكَ مَهْمَا أَنْفَقْتَ مِنْ نَفَقَةٍ فَإِنَّهَا صَدَقَةٌ، حَتَّى اللُّقْمَةُ الَّتِي تَرْفَعُهَا إِلَى فِي امْرَأَتِكَ، وَعَسَى اللَّهُ أَنْ يَرْفَعَكَ فَيَنْتَفِعَ بِكَ نَاسٌ وَيُضَرَّ بِكَ آخَرُونَ ". وَلَمْ يَكُنْ لَهُ يَوْمَئِذٍ إِلاَّ ابْنَةٌ.

訳：

サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه は言いました。私がマッカにいたとき、預言者 ﷺ が見舞いに来られました。彼は、人が移住して離れた土地で死ぬことを好まれませんでした。彼は「アッラーがイブン・アフラーに慈悲をかけられますように」と言われました。私は言いました。「アッラーの使徒よ、私の財産すべてを遺贈してもよいでしょうか。」彼は「いいや」と言われました。私は「半分では」と言いました。彼は「いいや」と言われました。私は「三分の一では」と言いました。彼は言われました。*「三分の一だ。だが三分の一でも多い。相続人を裕福なまま残すほうが、人々に物乞いする貧しい者として残すよりよい。あなたが費やすものはすべて施しである。妻の口に運ぶひと口でさえも。アッラーがあなたの命を延ばし、あなたによって益を受ける人々がいて、害を受ける人々もいるかもしれない。」* そのとき彼には娘が一人しかいませんでした。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌアイム・アル＝ファドル・ブン・ドゥカイン ← スフヤーン・アッ＝サウリー ← サアド・ブン・イブラーヒーム ← アーミル・ブン・サアド ← サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遺言の書、相続人を裕福に残すことは人々に物乞いさせるよりよいの章、ハディース第 2742 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2742

アッラーの使徒 ﷺ の祈りは聞き届けられました。サアドは回復し、それから 40 年以上生きました。多くの子どもに恵まれ、カーディスィーヤでの彼の指揮によってムスリムは大きな益を得、ペルシア帝国は敗れました。また、遺言は財産の三分の一を超えてはならないという規定も、このハディースから導かれています。

教訓

イスラームは施しだけでなく、家族の権利を守ることも教えています。妻や子どもへの出費は施しです。相続人に物乞いをさせるより、豊かに残すほうがよいのです。

楽園を約束された十人の一人

アッラーの使徒 ﷺ はあるとき十人の教友の名を挙げ、彼らはみな楽園にいると告げられました。サアドもその中にいます。 *「……サアドは楽園にいる……」*（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747；真正）。

サアドはまた、フダイビーヤでの *リドワーンの誓い*（ヒジュラ暦 6 年）にも加わりました。アッラーは勝利章 48:18 で、彼らを嘉されたと告げておられます。この十人のうち、最後に亡くなったのがサアドでした。

教訓

楽園の吉報は、サアドを安心させて努力をやめさせはしませんでした。彼は生涯の終わりまでジハードと崇拝を続け、争いから身を守りました。楽園の約束は、怠りではなく感謝を増やしたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

カーディスィーヤの司令官

橋の戦い（ヒジュラ暦 13 年）でのムスリムの敗北の後、カリフ、ウマル・ブン・アル＝ハッターブは自ら軍を率いてイラクへ行こうとしました。教友たちは、マディーナにとどまって司令官を任命するよう助言しました。アブドゥッラフマーン・ブン・アウフがサアド・ブン・アビー・ワッカースを推し、ウマルは彼を任命しました。

歴史の注：カーディスィーヤの戦い

ヒジュラ暦 15 年（14 年または 16 年とする伝承もある）、約 3 万のムスリム軍は、司令官***ルスタム***の率いる、象部隊を備えたはるかに大きなペルシア軍と向き合いました。

そのときサアドは病気で（体のできものと坐骨神経痛）、馬に乗ることができませんでした。彼はウザイブの宮殿の上から、胸を下にして横たわったまま戦いを指揮し、戦場で指揮を執るハーリド・ブン・ウルフタに小さな紙で命令を送りました。

戦いは数日続きました。ついにルスタムは討たれ、ペルシア軍は退き、イラクの扉はイスラームに開かれました。

伝承の状態： 戦いの細部は歴史書にさまざまな言い回しで伝えられていますが、カーディスィーヤでのサアドの勝利は歴史家の一致するところです。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』（ヒジュラ暦 14〜15 年の出来事）；イブン・カスィール『始まりと終わり』；バラーズリー『諸国征服史』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

歴史の注：アブー・ミフジャン・アッ＝サカフィー

伝えられるところでは、戦士アブー・ミフジャンは酒を飲んだためにサアドによって鎖につながれていました。戦いが最も激しくなったとき、彼はサアドの妻に、生き延びたら鎖に戻ると約束して、解き放ってくれるよう頼みました。

彼はサアドの馬に乗って勇敢に戦い、それから戻って再び鎖をつけました。サアドはそれを知ってアブー・ミフジャンを釈放し、アブー・ミフジャンは二度と酒を飲まないと誓いました。

伝承の状態： この話は歴史と伝記の書で有名ですが、細部は伝承によって異なります。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』（アブー・ミフジャンの伝記）。

教訓

サアドは病を理由に務めを怠りませんでした。立つことができなくても、知恵と計画で指揮しました。アブー・ミフジャンの話は、悔悟の扉は常に開かれており、賢い指導者は変わろうとする人に機会を与えることを教えています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マダーインの解放とクーファの建設

カーディスィーヤの後、サアドはティグリス川の向こう岸にあるペルシア帝国の都*マダーイン*（クテシフォン）へ進みました。都はヒジュラ暦 16 年に開かれました。

歴史の注：ティグリス川を渡る

歴史家によれば、ペルシア軍は橋を壊し、ティグリス川はそのとき増水していました。サアドはムスリム軍に馬で川を渡るよう命じました。彼らはアッラーを念じ、アッラーに委ねて渡り、ペルシア軍は驚いて都を捨てました。

サアドはホスローの宮殿（イーワーン・キスラー）に入ると、園と泉と恵みを後に残した民について語る煙霧章 44:25〜28 の節を読みました。それから、その中で勝利の礼拝を 8 ラクア捧げました。

伝承の状態： タバリーと歴史家たちが伝えています。サアドの指揮によるマダーインの解放は一致して認められています。

参照：
タバリー『諸使徒と諸王の歴史』（ヒジュラ暦 16 年の出来事）；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

ヒジュラ暦 17 年、ウマルの命により、サアドはイラクのムスリム軍の拠点として*クーファ*の町を建設しました。この町はのちにイスラームの学問の最大の中心の一つとなり、イマーム・アブー・ハニーファのような学者がそこから出ました。

教訓

勝利はサアドを高慢にしませんでした。当時最も強大な王の宮殿で、彼は高慢な者たちの滅びについての節を読み、感謝のひれ伏しをしました。本当の勝利とは、心がアッラーにより近づくことです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

クーファの人々の訴え

クーファの総督だったとき、サアドは一部の住民からウマルに訴えられました。彼らは、彼が礼拝をきちんと導けないとまで言いました：

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 755 番

حَدَّثَنَا مُوسَى، قَالَ حَدَّثَنَا أَبُو عَوَانَةَ، قَالَ حَدَّثَنَا عَبْدُ الْمَلِكِ بْنُ عُمَيْرٍ، عَنْ جَابِرِ بْنِ سَمُرَةَ، قَالَ شَكَا أَهْلُ الْكُوفَةِ سَعْدًا إِلَى عُمَرَ ـ رضى الله عنه ـ فَعَزَلَهُ وَاسْتَعْمَلَ عَلَيْهِمْ عَمَّارًا، فَشَكَوْا حَتَّى ذَكَرُوا أَنَّهُ لاَ يُحْسِنُ يُصَلِّي، فَأَرْسَلَ إِلَيْهِ فَقَالَ يَا أَبَا إِسْحَاقَ إِنَّ هَؤُلاَءِ يَزْعُمُونَ أَنَّكَ لاَ تُحْسِنُ تُصَلِّي قَالَ أَبُو إِسْحَاقَ أَمَّا أَنَا وَاللَّهِ فَإِنِّي كُنْتُ أُصَلِّي بِهِمْ صَلاَةَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مَا أَخْرِمُ عَنْهَا، أُصَلِّي صَلاَةَ الْعِشَاءِ فَأَرْكُدُ فِي الأُولَيَيْنِ وَأُخِفُّ فِي الأُخْرَيَيْنِ. قَالَ ذَاكَ الظَّنُّ بِكَ يَا أَبَا إِسْحَاقَ. فَأَرْسَلَ مَعَهُ رَجُلاً أَوْ رِجَالاً إِلَى الْكُوفَةِ، فَسَأَلَ عَنْهُ أَهْلَ الْكُوفَةِ، وَلَمْ يَدَعْ مَسْجِدًا إِلاَّ سَأَلَ عَنْهُ، وَيُثْنُونَ مَعْرُوفًا، حَتَّى دَخَلَ مَسْجِدًا لِبَنِي عَبْسٍ، فَقَامَ رَجُلٌ مِنْهُمْ يُقَالُ لَهُ أُسَامَةُ بْنُ قَتَادَةَ يُكْنَى أَبَا سَعْدَةَ قَالَ أَمَّا إِذْ نَشَدْتَنَا فَإِنَّ سَعْدًا كَانَ لاَ يَسِيرُ بِالسَّرِيَّةِ، وَلاَ يَقْسِمُ بِالسَّوِيَّةِ، وَلاَ يَعْدِلُ فِي الْقَضِيَّةِ. قَالَ سَعْدٌ أَمَا وَاللَّهِ لأَدْعُوَنَّ بِثَلاَثٍ، اللَّهُمَّ إِنْ كَانَ عَبْدُكَ هَذَا كَاذِبًا، قَامَ رِيَاءً وَسُمْعَةً فَأَطِلْ عُمْرَهُ، وَأَطِلْ فَقْرَهُ، وَعَرِّضْهُ بِالْفِتَنِ، وَكَانَ بَعْدُ إِذَا سُئِلَ يَقُولُ شَيْخٌ كَبِيرٌ مَفْتُونٌ، أَصَابَتْنِي دَعْوَةُ سَعْدٍ. قَالَ عَبْدُ الْمَلِكِ فَأَنَا رَأَيْتُهُ بَعْدُ قَدْ سَقَطَ حَاجِبَاهُ عَلَى عَيْنَيْهِ مِنَ الْكِبَرِ، وَإِنَّهُ لَيَتَعَرَّضُ لِلْجَوَارِي فِي الطُّرُقِ يَغْمِزُهُنَّ.

訳：

ジャービル・ブン・サムラは言いました。クーファの人々はサアドのことをウマル رضى الله عنه に訴えました。ウマルは彼を解任し、アンマールを彼らの総督に任じました。彼らは訴え続け、ついには彼が礼拝をきちんとできないとまで言いました。ウマルは彼を呼んで言いました。「アブー・イスハークよ、この人々はあなたが礼拝をきちんとできないと言っている。」アブー・イスハークは答えました。*「アッラーにかけて、私は彼らにアッラーの使徒ﷺの礼拝を導き、何ひとつ省かなかった。イシャーの礼拝では、*

最初の二ラクアを長くし、後の二ラクアを短くした。」 ウマルは言いました。「アブー・イスハークよ、あなたについての私たちの思いもそのとおりだ。」それからウマルは一人または数人を彼とともにクーファへ送り、クーファの人々に彼のことを尋ねさせました。どのモスクも残さず彼について尋ねると、人々は彼をよく褒めました。やがてアブス族のモスクに入ると、その中のウサーマ・ブン・カターダという、アブー・サアダと呼ばれる男が立ち上がって言いました。「誓いを求められたからには言おう。サアドは部隊とともに出陣せず、公平に分配せず、裁きにおいて公正でなかった。」サアドは言いました。***「アッラーにかけて、私は三つのことを祈ろう。アッラーよ、もしあなたのこのしもべが嘘つきで、見せびらかしと名声のために立ったのなら、その命を長くし、その貧しさを長くし、彼を試練にさらしてください。」*** その後、その男は様子を尋ねられると、「試練に陥った年寄りだ。サアドの祈りが当たったのだ」と言っていました。アブドゥルマリクは言いました。私は後に彼を見たが、老いのためにまゆが目の上に垂れ下がり、道で若い娘たちにちょっかいを出していた。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムーサー・ブン・イスマーイール ← アブー・アワーナ ← アブドゥルマリク・ブン・ウマイル ← ジャービル・ブン・サムラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼拝の呼びかけの書、イマームと後ろに並ぶ者の読誦の義務の章、ハディース第 755 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:755

サアドはその男に無条件で呪いの祈りをしたのではありません。祈りには条件がありました。「もしあなたのこのしもべが嘘つきならば」。男の末路は彼が本当に嘘をついていたことを示し、アッラーの使徒 ﷺ が祈られたとおり、サアドの祈りは聞き届けられたのです。

教訓

公正な指導者でさえ中傷されることがあります。サアドは落ち着いて正直に答え、ウマルも判断の前に公平に調べました。罪のない人を中傷することは大罪であり、その報いはこの世でさえ中傷した者に及ぶことがあります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

協議会（シューラー）

ウマル・ブン・アル＝ハッターブはヒジュラ暦 23 年に刺されたとき、後継者を指名するよう求められました。ウマルは、アッラーの使徒 ﷺ が逝去のときに満足されていた六人の教友の名を挙げました。アリー、ウスマーン、アッ＝ズバイル、タルハ、***サアド***、そしてアブドゥッラフマーンです。

サアドについて、ウマルはこう言いました。***「もし指導者の地位がサアドに渡れば、彼こそふさわしい。そうでなければ、あなたがたの誰が任じられても彼の助けを求めなさい。私は彼を無能や裏切りのゆえに解任したのではない」***（『サヒーフ・ブハーリー』3700）。

その協議会で、サアドは自分の権利をアブドゥッラフマーン・ブン・アウフに委ね、最終的にウスマーン・ブン・アッファーンがカリフとして忠誠の誓いを受けました。

教訓

ウマルの言葉は、クーファの人々の中傷からサアドの名を晴らしました。公正な指導者は、訴えを調べるだけでなく、不当に扱われた人の名誉を回復するのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

争いから身を引く

ウスマーン・ブン・アッファーンが殺された（ヒジュラ暦 35 年）後、ムスリムは分裂し、ムスリムどうしの戦いが起こりました。サアドはどちらの側にもつかないことを選び、マディーナ近くのアキークにある自分の土地に引きこもりました：

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2965 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، وَعَبَّاسُ بْنُ عَبْدِ الْعَظِيمِ، - وَاللَّفْظُ لإِسْحَاقَ - قَالَ عَبَّاسٌ حَدَّثَنَا وَقَالَ، إِسْحَاقُ أَخْبَرَنَا - أَبُو بَكْرٍ الْحَنَفِيُّ، حَدَّثَنَا بُكَيْرُ بْنُ مِسْمَارٍ، حَدَّثَنِي عَامِرُ بْنُ سَعْدٍ، قَالَ كَانَ سَعْدُ بْنُ أَبِي وَقَّاصٍ فِي إِبِلِهِ فَجَاءَهُ ابْنُهُ عُمَرُ فَلَمَّا رَآهُ سَعْدٌ قَالَ أَعُوذُ بِاللَّهِ مِنْ شَرِّ هَذَا الرَّاكِبِ فَنَزَلَ فَقَالَ لَهُ أَنَزَلْتَ فِي إِبِلِكَ وَغَنَمِكَ وَتَرَكْتَ النَّاسَ يَتَنَازَعُونَ الْمُلْكَ بَيْنَهُمْ فَضَرَبَ سَعْدٌ فِي صَدْرِهِ فَقَالَ اسْكُتْ سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ الْعَبْدَ التَّقِيَّ الْغَنِيَّ الْخَفِيَّ " .

訳：

アーミル・ブン・サアドは言いました。サアド・ブン・アビー・ワッカースがラクダの群れの中にいたとき、息子ウマルがやって来ました。サアドは彼を見ると、「この乗り手の悪からアッラーに守りを求める」と言いました。息子は降りて言いました。「あなたはラクダと羊の中に住みついて、人々が王権を争うのを放っておくのですか。」サアドは彼の胸を打って言いました。「黙りなさい。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いた。***アッラーは、畏れ深く、心が満ち足り、人目に立たないしもべを愛される。***」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← アッバース・ブン・アブドゥルアズィーム ← アブー・バクル・アル＝ハナフィー ← ブカイル・ブン・ミスマール ← アーミル・ブン・サアド ← サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』禁欲と心を和らげることの書、ハディース第 2965 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。最も真正な二つのハディース集（二サヒーフ）の一つである。

典拠： sunnah.com/muslim:2965

サアドはどの教友も非難しませんでしたが、自分はムスリムに武器を向けないことを選びました。スンナの民は、その争いに関わった教友たちはみな自らの判断（イジュティハード）で行動したと考え、誰のことも悪く言いません。

教訓

ペルシア帝国を破った英雄は、ウンマが分裂したとき沈黙を選びました。勇気は戦場だけのものではありません。ときには、争いから身を引き、畏れ深く、心が満ち足り、人目に立たないしもべであることを選ぶことこそが勇気なのです。

サアドの死

サアドは、アッラーの使徒 ﷺ が祈られたとおり長く生きました。彼はマディーナから約 10 マイル離れたアキークの館で、ヒジュラ暦 55 年（51 年から 58 年の間とする伝承もある）、80 歳を超えて亡くなりました。

歴史の注：バドルの外套

伝えられるところでは、死が近づいたとき、サアドは古い羊毛の外套を持って来させ、こう言いました。「これで私を包んで葬ってほしい。私はバドルの日、これを着て多神教徒と戦った。今日この日のためにしまっておいたのだ。」

彼の亡骸は人々の肩に担がれてマディーナに運ばれ、***バキーウ***に葬られました。彼は楽園を約束された十人の中で、また移住者の中で、最後に亡くなった人でした。

伝承の状態： 伝記と歴史の書で伝えられています。没年は伝承によって異なり、最もよく知られた説はヒジュラ暦 55 年です。

参照：
イブン・サアド『大列伝』；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

教訓

サアドはバドルの外套を、アッラーにお会いするための糧として 50 年以上しまっておきました。彼が誇りにしたのは自ら開いたホスローの宮殿ではなく、アッラーの道での最初の行いでした。最も尊いものは、この世の栄華ではなく、誠実な行いなのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの人柄

サアドの物語は、勇気と揺るがない信仰と知恵をあわせ持った信仰者の姿を描いています。

資質	生涯の例
揺るがない信仰	母が食を断ってもイスラームを捨てなかった（『サヒーフ・ムスリム』1748）
勇気	アッラーの道で最初に矢を放ったアラブ人（『サヒーフ・ブハーリー』3728）
腕前	ウフドで「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」（『サヒーフ・ブハーリー』4059）
気配り	頼まれずにアッラーの使徒 ﷺ を護りに来た（『サヒーフ・ブハーリー』2885）
合法な糧	祈りが聞き届けられた（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3751）
指導力	病のままカーディスィーヤを指揮した
感謝	ホスローの宮殿での勝利の礼拝
争いを避ける	ウンマが分裂したとき身を引いた（『サヒーフ・ムスリム』2965）

教訓

サアドは、本当の英雄とは戦場で強いだけでなく、家族の前で揺るがず、指導者として公正で、争いのときに賢明であることを示しました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの物語の出典

この表は、それぞれの話の出典と等級をまとめたものです。読者が真正なものと、ただ有名なだけのものを見分けられるようにしています。

話	出典	等級
イスラームの三分の一	『サヒーフ・ブハーリー』3727	真正
母の断食；蜘蛛章 29:8	『サヒーフ・ムスリム』1748c	真正
家畜章 6:52 の節	『サヒーフ・ムスリム』2413	真正
最初の矢	『サヒーフ・ブハーリー』3728	真正
「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」	『サヒーフ・ブハーリー』4055、4059	真正
アッラーの使徒 ﷺ の護衛	『サヒーフ・ブハーリー』2885；『サヒーフ・ムスリム』2410	真正
三分の一の遺言	『サヒーフ・ブハーリー』2742	真正
クーファの人々の訴え	『サヒーフ・ブハーリー』755	真正
協議会でのウマルの言葉	『サヒーフ・ブハーリー』3700	真正
畏れ深く人目に立たないしもべ	『サヒーフ・ムスリム』2965	真正
楽園を約束された十人	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747	真正
聞き届けられた祈り	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3751	良好
「これは私の母方のおじだ」	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3752	弱い
バドルのウマイル	イブン・サアド；ワーキディー	スィーラ
祈りの秘密：合法な食べ物	イブン・ラジャブ；ザハビー	言行録

話	出典	等級
カーディスィーヤとアブー・ミフジャン	タバリー；イブン・カスィール	歴史
ティグリス渡河；マダーイン	タバリー	歴史
死装束としてのバドルの外套	イブン・サアド；ハーキム	歴史

サアドの物語の人物

人物	役割
アブー・バクル・アッ＝スィッディーク	彼をイスラームに招いた
ハムナ・ビント・スフヤーン	母。彼を棄教させようと食を断った
ウマイル・ブン・アビー・ワッカース	弟。バドルで殉教した
アリー・ブン・アビー・ターリブ	「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」の伝承者
アーイシャ	サアドがアッラーの使徒 ﷺ を護った話の伝承者
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	彼をイラクの司令官、クーファの総督に任じた
ルスタム	カーディスィーヤのペルシア軍司令官
アブー・ミフジャン・アッ＝サカフィー	カーディスィーヤで悔悟した戦士
ジャービル・ブン・サムラ	クーファの人々の訴えの話の伝承者
アブー・サアダ（ウサーマ・ブン・カターダ）	サアドを中傷した男
アーミル・ブン・サアド	息子。彼についてのいくつかのハディースの伝承者

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの物語の場所

場所	出来事
マッカ	生まれた地。最初期に入信した
ラービグ	アッラーの道での最初の矢（ヒジュラ暦 1 年）
バドル	バドルの戦い。弟ウマイルの殉教（ヒジュラ暦 2 年）
ウフド	「射よ、わが父母をあなたの身代わりに」（ヒジュラ暦 3 年）
フダイビーヤ	リドワーンの誓い（ヒジュラ暦 6 年）
マッカ	重病。三分の一の遺言（ヒジュラ暦 10 年）
カーディスィーヤ	ペルシアに対する勝利（ヒジュラ暦 15 年）
ティグリス川とマダーイン	渡河。ホスローの宮殿（ヒジュラ暦 16 年）
クーファ	町を建設し、総督となった（ヒジュラ暦 17 年）
アキーク	争いの間身を引いた。逝去の地（ヒジュラ暦 55 年）
マディーナのバキーウ	埋葬の地

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前約 23 年	マッカのズフラ族に生まれる
預言者の使命の初め	17 歳ごろに入信
ヒジュラ暦 1 年	マディーナへ移住。ラービグで最初の矢
ヒジュラ暦 2 年	バドルの戦い
ヒジュラ暦 3 年	ウフドの戦い
ヒジュラ暦 6 年	フダイビーヤでのリドワーンの誓い
ヒジュラ暦 8 年	マッカの征服
ヒジュラ暦 10 年	マッカで病む。三分の一の遺言
ヒジュラ暦 14〜15 年	イラクの司令官に任命。カーディスィーヤの勝利
ヒジュラ暦 16 年	マダーインの解放
ヒジュラ暦 17 年	クーファの町を建設
ヒジュラ暦 21 年ごろ	訴えによりクーファから解任。アブー・サアダへの祈り
ヒジュラ暦 23 年	ウマルの後の協議会の一員
ヒジュラ暦 35 年以後	アキークで争いから身を引く
ヒジュラ暦 55 年	アキークで逝去。バキーウに埋葬

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

サアドについてよくある質問

この章では、サアド・ブン・アビー・ワッカース رضي الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にしています。詳しくは前の章をご覧ください。

1. サアド・ブン・アビー・ワッカースの本名は何ですか。

サアド・ブン・マーリク・ブン・ウハイブ・アッ＝ズフリーです。父マーリクのクンヤがアブー・ワッカースでした。

2. サアドとアッラーの使徒ﷺの関係は何ですか。

アッラーの使徒ﷺの母アーミナ・ビント・ワハブの氏族、ズフラ族の出身でした。

3. サアドは本当に三番目の入信者だったのですか。

彼は自分の知る範囲で、七日間「イスラームの三分の一」だったと言っています（『サヒーフ・ブハーリー』3727）。

4. サアドの母のために下された節はどれですか。

蜘蛛章 29:8 で、その意味はルクマーン章 31:15 でも繰り返されています（『サヒーフ・ムスリム』1748c）。

5. なぜサアドはアッラーの道で最初に矢を放った人と呼ばれるのですか。

ヒジュラ暦1年、ウバイダ・ブン・アル＝ハーリスの部隊で矢を放ち、彼自身がそれを語っているからです（『サヒーフ・ブハーリー』3728）。

6. 「فِدَاكَ أَبِي وَأُمِّي」とはどういう意味ですか。

「わが父母をあなたの身代わりに」という意味で、アッラーの使徒ﷺがウフドでサアドに言われた最高の愛情表現です（『サヒーフ・ブハーリー』4059）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

7. サアドの祈りは本当に聞き届けられたのですか。

はい。アッラーの使徒 ﷺ が彼の祈りが聞き届けられるよう祈られ（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3751）、アブー・サアダの話がそれを示しています（『サヒーフ・ブハーリー』755）。

8. なぜ遺言は三分の一に限られるのですか。

アッラーの使徒 ﷺ がサアドに「三分の一だ。だが三分の一でも多い」と言われたからです（『サヒーフ・ブハーリー』2742）。

9. カーディスィーヤの戦いはいつですか。

最もよく知られた説ではヒジュラ暦 15 年、サアドの指揮のもとで行われました。

10. なぜサアドは教友たちの間の戦いに加わらなかったのですか。

争いから身を引くことを選び、アッラーは畏れ深く、心が満ち足り、人目に立たないしもべを愛されるという預言者 ﷺ の言葉を守ったからです（『サヒーフ・ムスリム』2965）。

11. サアドはいつ、どこで亡くなりましたか。

ヒジュラ暦 55 年にアキークで亡くなり、マディーナのバキーウに葬られました。

12. サアドの物語の最大の教訓は何ですか。

揺るがない信仰、勇気、合法な糧、そして争いから身を引く知恵です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه の物語は、イスラームが生まれてわずか数日のときに入信したマッカの若者から始まり、バドルの外套に包まれて葬られた老人で終わります。その間には、ジハードと指導と神への畏れに満ちた生涯があります。

教訓	サアドの物語から
何よりも信仰	母が食を断っても揺るがなかった
アッラーに背かない孝行	母に優しくし続けた
努力とアッラーへの信頼	ウフドで矢を射た。勝利はアッラーから
頼まれる前の気配り	アッラーの使徒 ﷺ を護りに来た
合法な糧、聞き届けられる祈り	ひと口ひと口に気をつけた
相続人の権利を守る	三分の一を超えない遺言
争いを避ける	ウンマが分裂したとき身を引いた

私たちの生活の中のサアド

私たちが弓を手にしたり軍を率いたりすることはないかもしれません。しかしサアドの資質を受け継ぐことはできます。愛する人に試されても信仰を守ること、糧が合法であるよう気をつけること、ほかの人の必要に気を配ること、そして争いや口論から身を引くことです。

中傷が簡単に広まるソーシャルメディアの時代に、「畏れ深く、心が満ち足り、人目に立たないしもべ」であろうとしたサアドの選択は、私たちの生活にとても身近です。

イン・シャー・アッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、マディーナに遣わされた最初のイスラームの使者、ムスアブ・ブン・ウマイルへと続きます。アッラー

がカーディスィーヤの英雄サアド・ブン・アビー・ワッカースを嘉され、私たちをアッラーの使徒ﷺとその教友たちとともに楽園に集めてくださいますように。

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（雌牛章 2:186；家畜章 6:52；戦利品章 8:17；蜘蛛章 29:8；ルクマーン章 31:15；煙霧章 44:25〜28）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』755、2742、2885、3700、3727、3728、4055、4059。sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1015、1748、2410、2413、2965。sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747、3751、3752。sunnah.com/tirmidhi

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

ワーキディー『マガーズィー（遠征記）』。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（サアド・ブン・アビー・ワッカースの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史（ターリーフ・アッ＝ルスル・ワ・アル＝ムルーク）』。

バラーズリー『諸国征服史（フトゥーフ・アル＝ブルダーン）』。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

ザハビー『高貴な人々の伝記（スィヤル・アアラーム・アン＝ヌバラー）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

イブン・ラジャブ・アル＝ハンバリー『知識と英知の集成（ジャーミウ・アル＝ウルーム・ワ・アル＝ヒカム）』。

Wikipedia「Sa‘d ibn Abi Waqqas」。en.wikipedia.org/wiki/Sa%27d_ibn_Abi_Waqqas

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ、第 2 巻：アリー・ブン・アビー・ターリブ、第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリード、第 4 巻：アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ。quranscience.my/#pahlawan

『預言者伝（スィーラ）』第 9 巻（バドルの戦い）と第 10 巻（ウフドの戦い）。quranscience.my/#sirah

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience